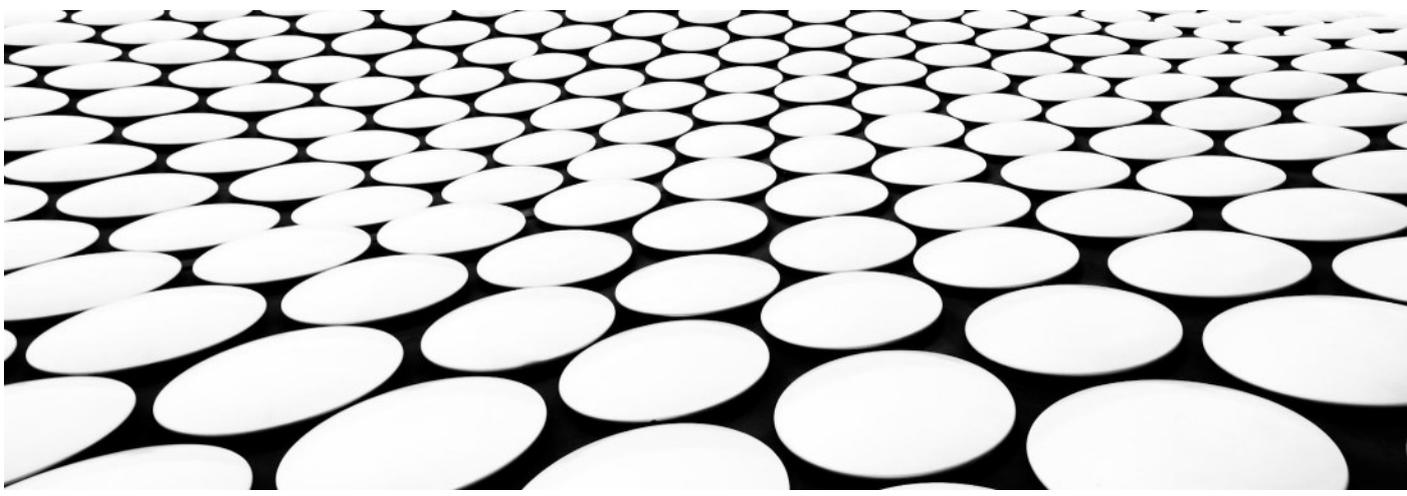


COUNTER

リリース 5.1

# COUNTER メトリ ックの紹介

フレンドリーガイド



この冊子は、COUNTERリリース5.1実務指針をわかりやすく説明した「フレンドリーガイド」シリーズの一部です

このシリーズは、以下の冊子から成り立っています。

- COUNTERレポートの紹介
- COUNTERメトリックの紹介
- COUNTERのAttributes, Elements, そのほかの用語について
- COUNTERとオープンアクセス
- COUNTERに準拠するには
- コンソーシアム（団体）向けのCOUNTER
- リリース5.1変更点

このシリーズは、わかりやすい日本語で書かれています。COUNTER実務指針の中の文字列は、正確にはアンダースコアを用いてつながれて表記されます。たとえば、Data Typeは正確にはData\_Type、Total Item Investigationsは正式にはTotal\_Item\_Investigationsと表記されますので、ご注意ください。

## この冊子で説明されるもの

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| COUNTER のメトリック（指標）って何?.....        | 3 |
| 利用状況メトリック .....                    | 3 |
| 利用状況メトリックの例.....                   | 4 |
| 検索（サーチ）メトリック .....                 | 5 |
| 検索メトリックの例.....                     | 5 |
| アクセス拒否.....                        | 6 |
| どのメトリックを使用すべき? .....               | 7 |
| ダウンロードごとのコスト（CPD）の計算に使用するために ..... | 7 |
| データベースを保有する価値の把握のために .....         | 7 |
| 購入の決定のために .....                    | 7 |

## COUNTER のメトリック（指標）って何？

リリース 5.1 においては、3つのメトリックが存在します。利用状況メトリック、検索メトリック、アクセス拒否の3つです。メトリックの違いについてたくさん質問を受けるのですが、以下のたとえ話が参考になれば幸いです。出版社のプラットフォーム（ウェブサイト）は、人気のあるナイトクラブのようなものと考えてみてください。検索メトリックは入口での入場者数に相当し、利用状況メトリックはバーでドリンクを注文した人の人数を表し、アクセス拒否は入口スタッフによってドレスコードを満たしていないので入場を拒否された人の数のようなものと考えれば、よくわかると思います。

### 利用状況メトリック

利用状況メトリックはその名の通り、出版物の利用状況を示します。利用状況メトリックは、いろんな出版社のプラットフォーム間の利用パターンの比較が可能になることを目的として設計されています。なので、たとえ出版社によって出版物の種類やユーザーエクスペリエンスのデザインが異なっているとしても、利用状況メトリックを用いることで比較が可能となります。

### インベスティゲーション（調査）とリクエストの違い

どんな形であれプラットフォーム上の出版物となんらかのかかわり（インタラクション）を持った場合、それはインベスティゲーション（調査）とカウントされますが、そのうちの一部は、同時にリクエストとしてもカウントされます。

例えば、メタデータ（例えば本の要約文やビデオのサムネイルなど）をユーザーが閲覧した場合や、図書館相互貸出（inter-library loan）などのリンクをユーザーが利用した場合などは、インベスティゲーションです。

ユーザーがある一つの出版物のコンテンツを実際に利用した場合は、1インベスティゲーションと同時に1リクエストとしてもカウントされます。

つまり、リクエストとは、インベスティゲーションのサブセット（部分集合）ということです。ユーザーがある一つの出版物のコンテンツを利用した場合のみ、それは同時にリクエストとしてもカウントされます。なので、本の1チャプター（章）を閲覧またはダウンロードした場合、またはビデオを視聴した場合も、同じくリクエストとしてもカウントされます。

トータルとユニークについて。利用状況を正確に知るため、重複を除去

インベスティゲーションとリクエストは、2つの方法で報告されます。それは、総数 (Total counts) と重複の除去されたユニーク数 (Unique counts) としてです。ユニーク数のメトリックは、出版社によって違うユーザーインターフェースに影響されず、利用状況パターンを出版社プラットフォーム間で比較可能にします。

### アイテムとタイトルについて。本は特異なケースである

利用状況メトリックは、基本的には個々の出版物 (アイテム) に関連していますが、本は特異なケースですのでご注意ください。本では、ユニークなインベスティゲーションとリクエストをその本のレベルまで上げて集計することができます。

そのため、本には6つの利用状況メトリックが存在します。

- アイテムの総インベスティゲーション数 (Total Item Investigations) とアイテムの総リクエスト数 (Total Item Requests) は、アイテムのレベルで適用され、ユーザーの行動をカウントします。
- ユニークなアイテムインベスティゲーション (Unique Item Investigations) とユニークなアイテムリクエスト (Unique Item Requests) もアイテムのレベルで適用されますが、その数は、1セッションごとに1回のインタラクションがあったのみとしてカウントされます。
- ユニークなタイトルインベスティゲーション (Unique Title Investigations) とユニークなタイトルリクエスト (Unique Title Requests) は、さらにユニークなカウントをするということを厳密にとらえ、1セッションにおいて、本1冊ごとに1回のインタラクションがあったのみとしてカウントされません。

### 利用状況メトリックの例

ある出版社のプラットフォームはジャーナル、本 (全冊または章ごとにダウンロード可能)、およびマルチメディアを提供しているとします。あるユーザーがこのプラットフォームを訪れました。この1回の訪問中、この人はあるジャーナルの記事の要約を一つ読み、その記事の全文PDFをダウンロードしました。また、ある本の要約文も閲覧し、その本の全文17章もダウンロードしました。さらに、ビデオも1つ視聴しました。この人の利用カウントは以下となります。

|                            | Journal | Book | Video |
|----------------------------|---------|------|-------|
| Total Item Investigations  | 2       | 18   | 1     |
| Unique Item Investigations | 1       | 18   | 1     |

|                                    |   |    |   |
|------------------------------------|---|----|---|
| <b>Total Item Requests</b>         | 1 | 17 | 1 |
| <b>Unique Item Requests</b>        | 1 | 17 | 1 |
| <b>Unique Title Investigations</b> |   | 1  |   |
| <b>Unique Title Requests</b>       |   | 1  |   |

## 検索（サーチ）メトリック

リリース5.1では、4つの検索メトリックがあります。

**プラットフォーム検索（Searches Platform）**はプラットフォームレポートに報告されるもので、プラットフォーム全体のユーザーによる検索数を報告します（つまり、このプラットフォーム内に複数のデータベースがあったとしても、このプラットフォームで1回検索しただけなら、そのカウントは1となります）。

通常検索数（Searches Regular）と自動検索数（Searches Automated）はしばしば混同されます。両者はともにデータベースレベルでのユーザーによる検索数を報告し、データベースレポートに報告されますが、次のような違いがあります。

- **通常検索数（Searches Regular）**は、複数のデータベースを含むプラットフォームから、ユーザーがあるひとつのデータベースを選択できる場合か、またはプラットフォーム上にたった1つのデータベースしか存在しない場合に適用されます。
- **自動検索数（Searches Automated）**は、検索するデータベースをユーザーが選択できない、複数のデータベースを含むプラットフォームで適用されます。

4つめの検索メトリックは「**統合検索数（Searches Federated）**」です。これは、出版社のプラットフォーム外で、なんらかの検索エンジンによって行われた検索数を報告します。これはデータベースレベルでのみ適用され、データベースレポートに報告されます。

### 検索メトリックの例

この例では、ある出版社のプラットフォームが3つのデータベースを提供しているとします。このプラットフォームへの一回の訪問中、あるユーザーがプラットフォームで3回の検索を行い、その後、データベース・3で個別に1回の検索を行った場合、利用カウント数は以下ようになります。

|                           | Platform A | Database 1 | Database 2 | Database 3 |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|
| <b>Searches Platform*</b> | 4          |            |            |            |
| <b>Searches Regular</b>   |            | 3          | 3          | 4          |
| <b>Searches Automated</b> |            |            |            |            |
| <b>Searches Federated</b> |            |            |            |            |

\*プラットフォームレポートのみに報告されます

さらにこのユーザーが、別の出版社の、2つのデータベースを提供するプラットフォームにアクセスしたとします。この出版社のプラットフォームは、ユーザーがデータベースを個別検索できる検索制限を設けていないと仮定します。なので、このユーザーが5回の検索をここで行った場合、利用状況は以下のようになります。

|                           | Platform B | Database 4 | Database 5 |
|---------------------------|------------|------------|------------|
| <b>Searches Platform*</b> | 5          |            |            |
| <b>Searches Regular</b>   |            |            |            |
| <b>Searches Automated</b> |            | 5          | 5          |
| <b>Searches Federated</b> |            |            |            |

\*プラットフォームレポートのみに報告されます

## アクセス拒否 (Access denials)

アクセス拒否 (Access denials) は、ときには「入場拒否 (turnaways)」とも呼ばれ、リリース5.1では2つの種類に分類されます。**ライセンスなしのアクセス拒否 (No License access denials)** は、ユーザーの所属機関がある出版物に対してライセンスを持っていないのに、その出版物にアクセスしようとした数がカウントされます。また、同時ユーザー数の上限を超えたためにユーザーがある出版物にアクセスできない場合は、**使用制限超過のアクセス拒否 (Limit Exceeded access denials)** としてカウントされます。

定期購読タイプのジャーナルは普通、非購読ユーザーにも無料でその記事のメタデータ（タイトル、著者、要約など）を閲覧可能にしていますが、ユーザーがライセンスを持っていない場合、全文の記事にはアクセスできないようにしています。この場合は、ライセンスなしのアクセス拒否と、インベスティゲーションの両方としてカウントされます。

## どのメトリックを使用すべき？

ダウンロードごとのコスト（CPD）の計算に使用するために

ダウンロードごとのコスト（CPD）の計算には、Unique Item Requests（ユニークなアイテムリクエスト）を使用することをおすすめします。

定期購読タイプの出版物のCPDを計算する場合は、年間の支出をその年のUnique Item Requestsで割ってください。

購入した本のCPDを計算する場合は、購入価格を購入日以降のUnique Item Requestsで割ってください。

オープンアクセスの出版物のCPDを計算する場合は、Global Item Report（グローバルアイテムレポート）をご利用ください。詳細は「COUNTERとオープンアクセス」の冊子でご確認いただけます。

データベースを保有するということの価値の把握のために

図書館がデータベースを保有する価値について明確に把握するため、多くの図書館員が複数のメトリックを組み合わせて使用しています。例えば検索数（Searches Platform）はプラットフォームへの総トラフィックを把握するのに使えます（ナイトクラブのたとえ話の「入口での入場者数」の例を思い出してください）。一方、総数のアイテムインベスティゲーション（Total Item Investigations）は、検索結果の有用性について考えるときに使えます。

購入の決定のために

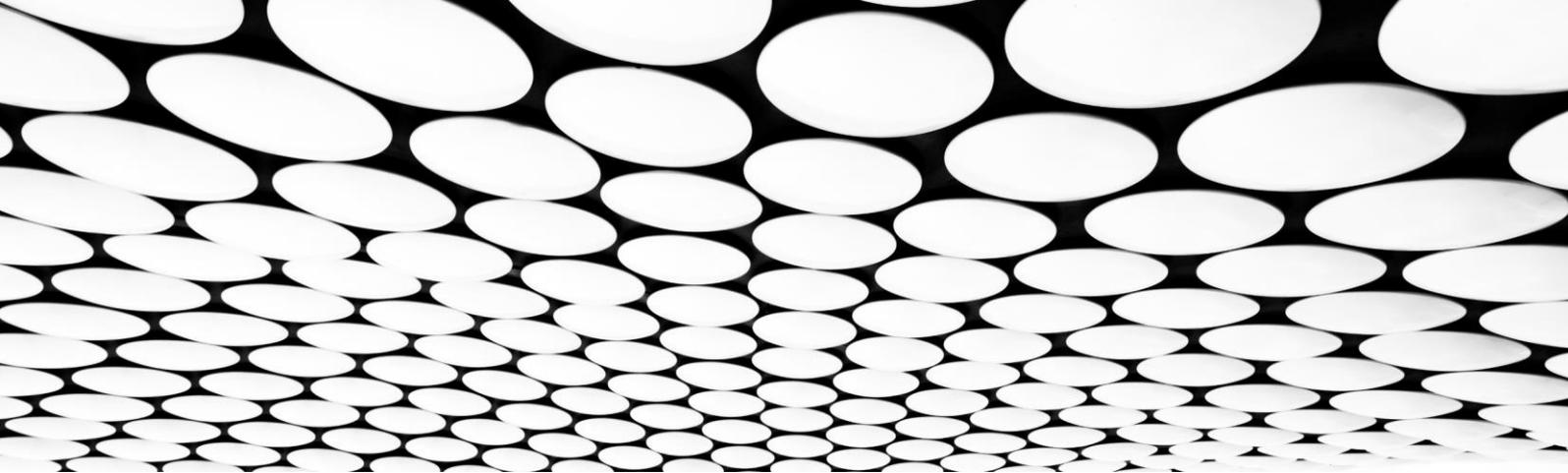
アクセス拒否は、図書館においてリソース購入の意思決定の資料として役立つはずですが、たとえばライセンスなしのアクセス拒否が多い場合、あなたの図書館のユー

ザーは、あなたの図書館が持っていないリソースを必要としているのかも、と考えることができます。一方、アクセス拒否がみられない場合、もし誰かがそのリソース購入を提案した場合、アクセス拒否のカウントがないことを理由にその購入を見送る決断のためにも使えます。

#### より詳しい情報について

より詳しい情報については、Code of Practice (<https://cop5.projectcounter.org/en/5.1>) と COUNTER Media Library ([medialibrary.projectcounter.org](https://medialibrary.projectcounter.org)) をご覧ください。

答えがどこにも見当たらないご質問がある場合は、当社のプロジェクト・ディレクターの下記のメールアドレスにご一報ください。  
[tasha.mellins-cohen@counterusage.org](mailto:tasha.mellins-cohen@counterusage.org)



# COUNTER

Thanks to our generous sponsors,  
Friendly Guides will soon be available in...

Chinese

Sponsored by SpringerNature

**SPRINGER NATURE**

German

Sponsored by Thieme

 **Thieme**

Spanish

Sponsored by Gale

 **GALE**

French

Translated by the Couperin Consortium and  
the Canadian Research Knowledge Network

Japanese

Translated by Yuimi Hlasten, Denison College

